

分野：②生態系・生物多様性

## (入間川の水生生物調査・河川敷の生物調査)

環境アドバイザー

福田 直

対象 けやの森学童保育室児童 (20 人)

所要時間



2 時間

場所 狭山市昭代橋周辺

実施時期

令和3年8月24日午前

## 概要

入間川に生息する水生生物（水生昆虫・魚類・藻類など）を採集観察し、川の環境（水質・流速など）との関わりを調べ、人為と生物多様性について考える。

プログラムの  
ねらい

入間川に生息する水生生物を調べることで、自然の成り立ち・しくみについて関心を持たせる。河川の水質調査や周辺環境の変化から、生きものの生息への人為の影響、人々の生活と河川環境との関わりを考えさせる。

## プログラムの内容

## 1 諸注意など (10分)

全体注意

カヌークラス分け

水生動物の採集法や河川水の水質分析法についての説明

## 2 カヌー実践及び自然環境観察 (65分)

カヌー技術を上達させる。

カヌー上から河川及び河川敷周辺の自然環境を観察する。

## 3 自然観察 (40分)

水生動物の採集・観察、河川水の水質調査 (COD・アンモニア態窒素・リン酸、pH)、水温・流速測定、水生生物と水質との関係の考察

## 4 まとめ (5分)

入間川の増水・流出により、水生生物が流去しており、考察することは難しかった。

## 受講者の反応

「ウシガエルのオタマジャクシやナミウズムシ、ヨコエビなどを観察した」、「オオカナダモが流れていた」、「楽しかった」、「水質はややきれいだった」などの感想から、観察会に関心を持ち、有意義であったと捉えている。本日の水生生物の採集では、カゲロウ、トビケラなどの水生昆虫は見つからず、川水の増量、濁り具合から、数日前の大雨によりほとんどの水生生物は流されてしまったことが伺えた。

